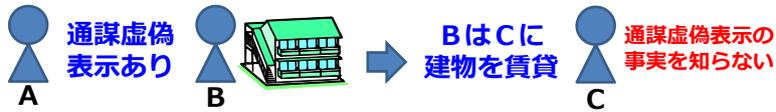


第三者とは何か

94条2項における「第三者」の定義

その表示の目的物につき、新たな法律上の利害関係を取得した者

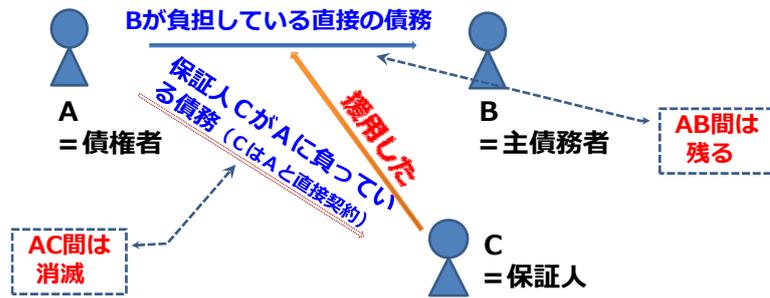
Aは土地をBに売却したように装い、Bがその土地に建物を建てた



この場合、Cは第三者にあたるか？

援用の相対効

時効の効果は、これを援用した者についてのみ生じる (その人ごとに考える)

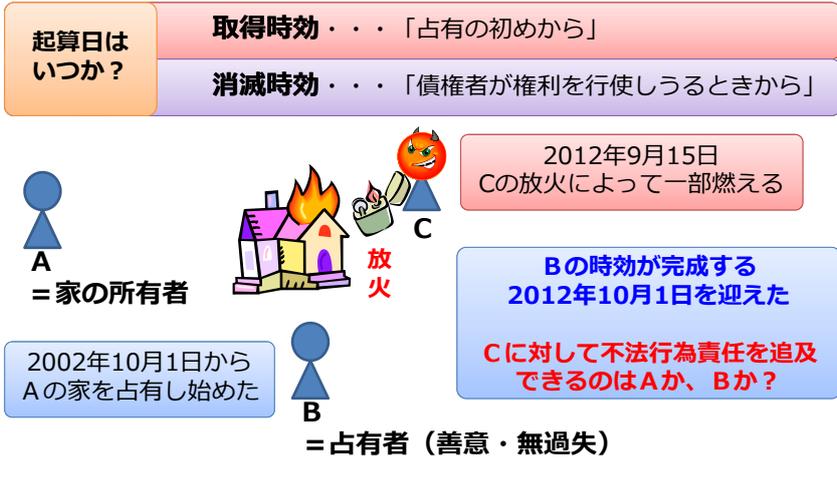


問題

Cは、AB間の主債務に消滅時効の援用をしてAC間の債務を消滅させることができたが、なぜAB間は残るのか？

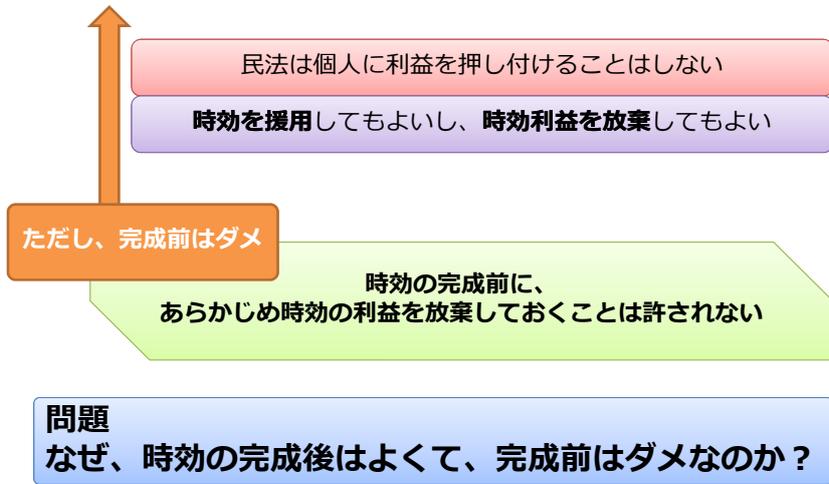
時効の遡及効

～ 時効の効果は、「起算日」までさかのぼる ～
「起算日」とは時効期間の始まりとなった、事実状態の開始の日



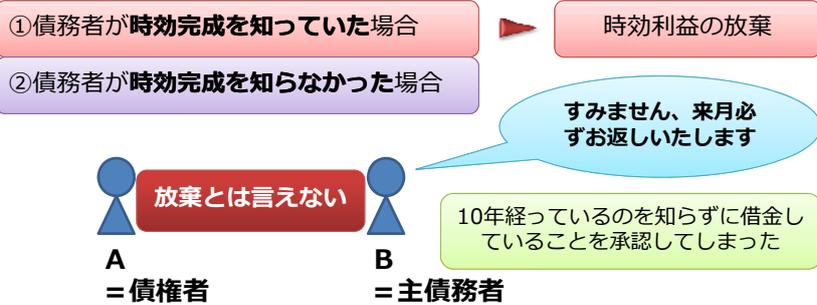
時効利益の放棄

時効の**完成後**に、時効による利益を享受しない旨の意思表示をすること



時効完成後の債務承認

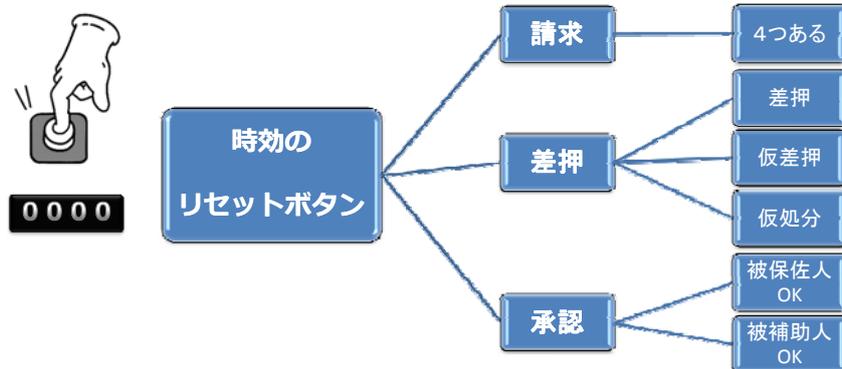
時効が完成した後に、債務者が認めた場合(債務承認)は時効利益の放棄か



問題
 上記例②が「放棄」ではないとすれば、この後、Bが時効の援用をしたら、これをどう解釈すればよいか？

時効の中断（意義）

時効期間の経過中、それまでの期間の経過を覆し、まったく無意味にする



問題
 なぜ、請求や差押をすると、時効が中断するのか？

請求（民事訴訟の提起）

4種類
の請求

- ①裁判上の請求
- ②支払督促
- ③和解のための呼び出し
- ④破産手続きへの参加

裁判上の請求をすると時効が中断する

例外

「訴えの取下げ」
「却下」
「請求棄却(敗訴)」
の場合は中断しない

問題

「却下」と「棄却」の違いは何か？

裁判外の請求

問題

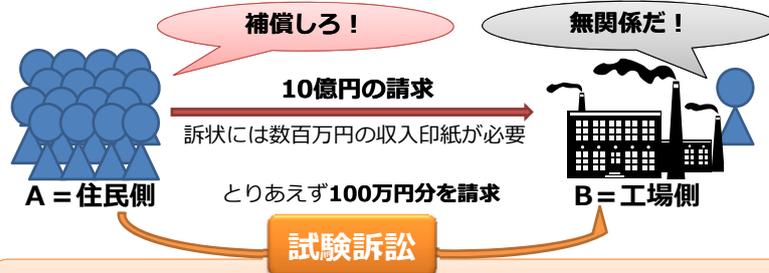
裁判以外の請求でも、時効は中断するのか？

- ①「電話」による請求
- ②内容証明郵便などの書面による請求



時効の完成を6ヶ月間引き延ばせる

一部請求と中断の範囲



裁判所が工場の煙と被害との因果関係を認定してくれるか、あるいは工場Bの過失を認定してくれるかどうか打診する

問題

時効が中断するのは、損害10億円全体か、100万円分のみか？

時効中断の効果と時効の停止

問題

中断の効果とは「それまでの時効期間が覆されてゼロになる」ことだが、中断以後も中断以前と同じ事実状態が続いた場合はどう判断するか？

時効の停止とは「時効の完成間際に、時効の中断を困難にする一定の事情が生じた場合、その期間だけ時効の完成を延期する」こと。



大地震が発生して裁判所へ行けなかった…